



平素より、本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、夏休み前に実施いたしました「学校評価アンケート」につきましては、お忙しい中ご協力いただき、心より感謝申し上げます。今回のアンケートでは、保護者の皆様には学校全体の取り組みについて、児童には日頃の学習や学校生活について、教職員には授業や家庭との連携、学校運営への関わりについて、それぞれ自己評価を行いました。令和7年度の本校の教育目標は、「自ら考え、判断し、共に生きる子どもの育成～新たなことにチャレンジし、主体性をもって行動する未来の創り手を育てる教育の創造～」です。

また、目指す子ども像として、「あきらめずチャレンジする子ども」「主体的に学びに向き合う子ども」「笑顔で元気にあいさつする子ども」「みんなで力を合わせて学びを作り上げる子ども」を掲げ、「会話のキャッチボール」をキーワードに、日々の教育活動に取り組んでおります。今回の学校評価アンケートでは、これらの目標に沿って一部項目の見直しを行い、より子どもの実態に即した内容となるよう工夫いたしました。保護者の皆様からいただいたご意見や児童・教職員の自己評価は、私たち教職員にとって、日々の取り組みを振り返る貴重な機会となります。今後も、保護者・地域の皆様と共に、よりよい教育のあり方を探って参ります。

今回の「学校評価特別号」では、令和6年度後半の結果と比較し、特に変化が見られた項目について分析を行い、グラフと考察を掲載しております。

【学校評価アンケートの分析（R6後半の結果と比べて）】

児童の回答では、昨年度と同様に、多くの項目で「よくできている」「大体できている」と答えた割合が8～9割を超えており、子どもたちが日々の学校生活に前向きに取り組んでいる様子がうかがえました。一方で、「主体性」に関する内容や「体力づくり」に関する項目では、「あまりできていない」「できていない」と答えた児童が1割を超えており、昨年度と同様の傾向が見られました。これらの項目については、今後も継続的な支援と取組が必要であると考えています。保護者の皆様の回答については、前回と大きな変化は見られませんでした。ただし、前回と比べると少しずつ改善されている傾向もあり、家庭での学習習慣の定着に向けた取り組みが成果を上げつつあることがわかります。しかし、「自主学習の習慣」や「GIGA端末の活用」については、学年に応じた支援が今後も必要であると考えます。教職員の回答でも、これらの項目に対して否定的な意見もあり、保護者・教職員の双方が課題として認識していることが明らかになりました。

今回の分析では、「確かな学力」・「豊かな心」・「健やかな体」・「学校の取組」のテーマに沿って、否定的な回答が多く見られた項目を中心に、結果をまとめました。それぞれのテーマについて、具体的な課題と今後の取り組みの方向性を考察しております。また、すべての項目のグラフは本校ホームページに掲載しております。ご家庭でもご確認いただき、今後の教育活動へのご理解とご協力をいただけますと幸いです。

<R7前半の紫竹小学校の傾向>

確かな学力

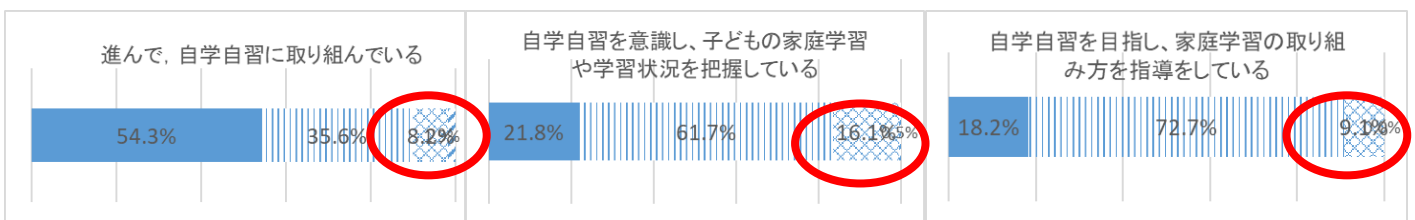
■よく出来ている ▨大体出来ている △あまりできていない ◻出来ていない

○「進んで自学自習に取り組んでいる」

児童

保護者

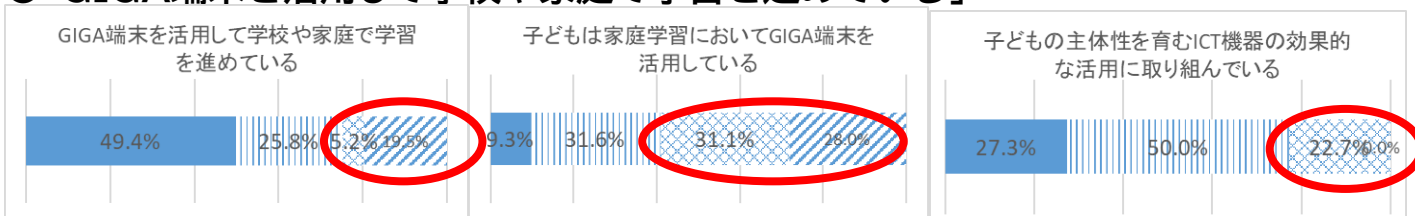
教職員



前回のアンケート結果と比較すると、「進んで自学自習に取り組んでいる」と回答した児童は約8%、保護者は約3%増加し、否定的な回答も約14%減少するなど、前向きな変化が見られました。

しかしながら、依然として約1割の児童・保護者が「自学自習が身についていない」と感じておられることを真摯に受け止め、今後も各担任が保護者と連携しながら、児童が「自分のためになる学習」を主体的に考えられるよう、継続的な指導を行ってまいります。また、教職員の中にも同様の傾向が見られることから、児童が自ら課題を選択できる環境づくりや、個別の指導を通じて、より効果的な自学自習の支援を学校全体で進めていく必要があると考えています。

○「GIGA端末を活用して学校や家庭で学習を進めている」

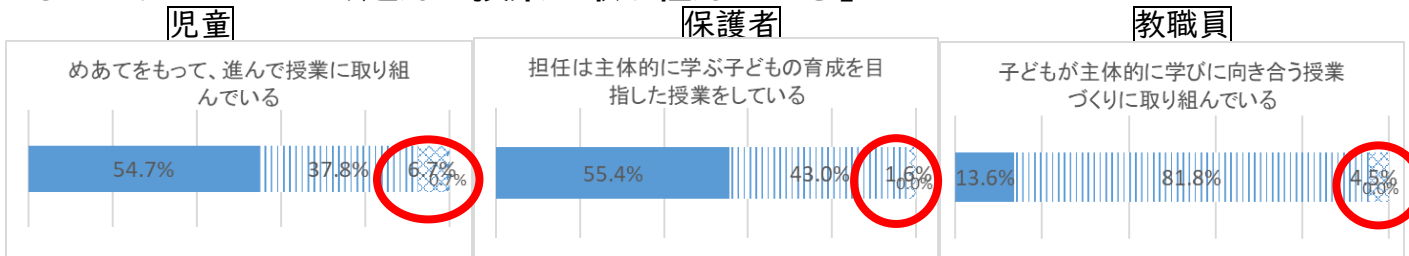


今回のアンケート結果では、「学校や家庭でGIGA 端末を活用して学習を進めている」という項目において、「よく出来ている」「大体出来ている」と回答した割合が最も低い結果となりました。

これは、特に2ndGIGA 端末の入れ替えにより、1年生が端末を活用できなかったことと、また他学年でも持ち帰る機会が少なかったことが主な要因と考えられます。2学期以降は、GIGA 端末を活用したデジタルドリルやロイノート等を使用する機会が増える予定です。今後も、指導者の研修を充実させ、GIGA 端末を「児童の主体性を育むためのツール」として活用できるよう努めて参ります。

また、端末使用に関するルールやマナーについても、児童にしっかりと指導していきます。ご家庭でも、端末の適切な使用についてご協力いただけますよう、よろしくお願いいたします。

○「めあてをもって、進んで授業に取り組んでいる」

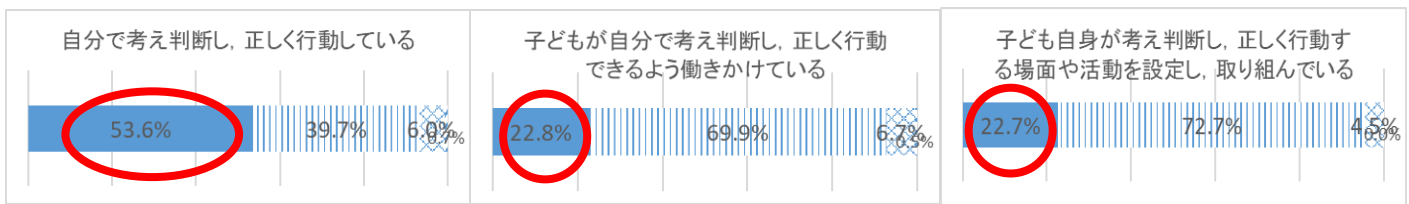


児童・保護者の「よく出来ている」の割合が、「確かな学力」に関する他の項目と比べて高く、特に肯定的な意見が多く見られました。これは、授業の中で目標や課題が明確に示されることで、子どもたちが意欲的に学習に取り組んでいる様子うかがえる結果です。また、保護者からも同様に前向きな評価が寄せられています。一方で、否定的な意見も一定数見られました。

今後も、すべての児童が主体的に学びに向かえるよう、授業の改善を継続していく必要があると考えています。子どもたちが自ら学びの目的をもち、意欲的に授業に参加できるよう、教職員一同で取り組んでまいります。

豊かな心

○「自分で考え判断し、正しく行動している」



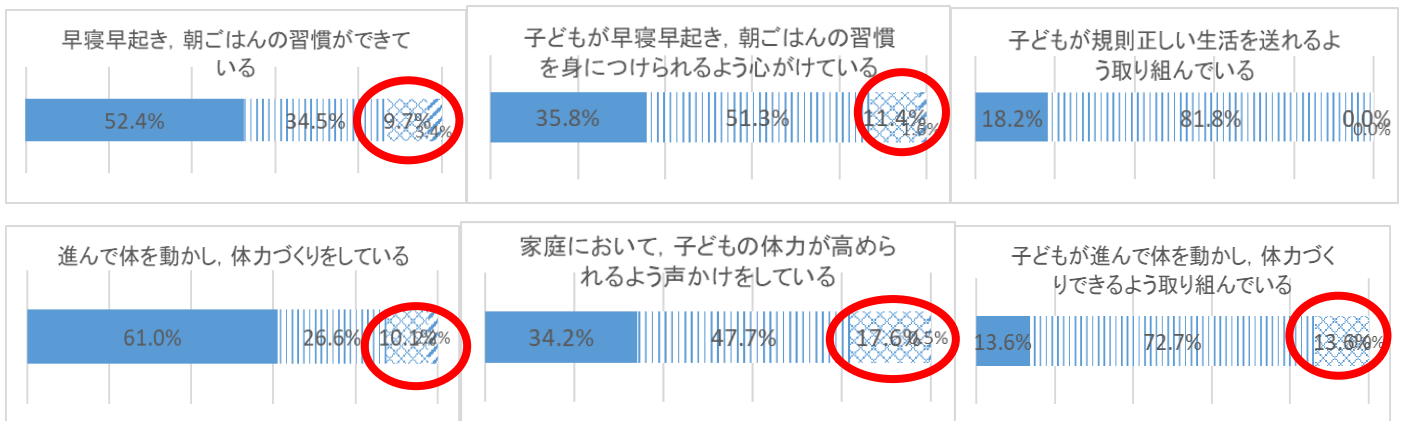
児童・保護者・教職員のいずれの回答においても、すべての項目で肯定的な回答が9割を超える結果となりました。これは、子どもたちが日常生活の中で豊かな心を育てている様子うかがえる、非常に嬉しい傾向です。

一方で、他の項目「自分や友達の良いところを見つけている」「自分も友達も大切にしている」と比べると、「よく出来ている」と回答した割合がやや少ない結果となりました。昨年度も同様の傾向が見られており、継続的な課題として捉える必要があります。「確かな学力」でも児童の主体性について触れましたが、学習面だけでなく、日常生活の行動においても主体性を育てていくことが重要です。概ね身に付けられている様子は見られますが、今後は、子どもたちが自ら考え、判断し、正しい行動を選択できるよう、教育活動を通じてさらに育成していきたいと考えています。

健やかな体

○「早寝早起き、朝ごはんの習慣ができています」

○「進んで体を動かし、体力づくりをしている」



昨年度と同様に、1割を超える児童が望ましい生活習慣を十分に意識・実践できていないことが分かりました。

昨年度の冬休み明けに実施した「すこやか週間」の生活調べでは、朝食をとっていない児童はほとんどいませんでしたが、就寝時刻については、学年が上がるにつれて遅くなる傾向が見られました。高学年では、夜11時～12時に就寝する児童が多く、低学年でも11時を過ぎてから寝る児童が少数ながら存在していま

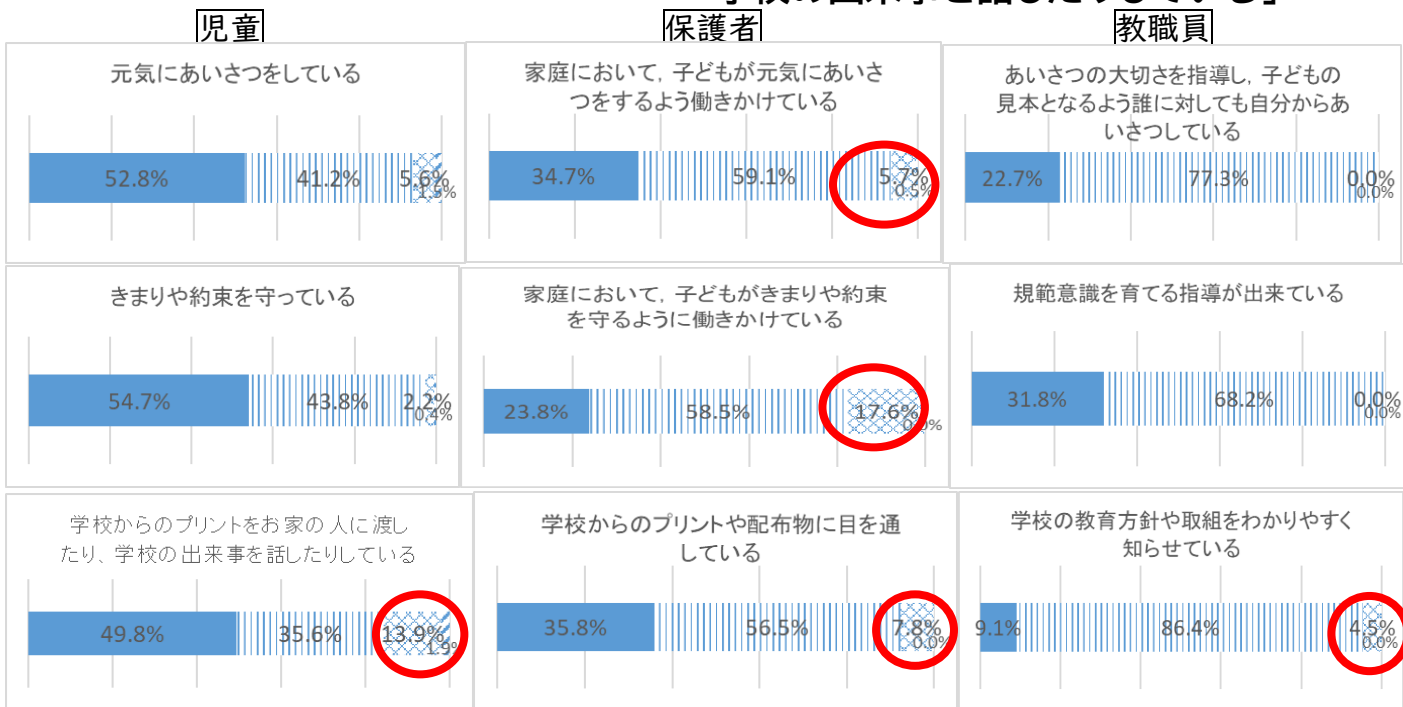
た。また、体力づくりに関しては、運動する児童としない児童の二極化傾向が本校でも見られます。今回のアンケート実施時期（7月）は高温のため運動制限があったことも影響があったと考えられます。

学校では、「保健週間」や「食に関する指導」を通して、食事・睡眠の大切さについて繰り返し指導を行っています。食事・運動・休養・睡眠の調和のとれた生活習慣を身につけることが、心身の健やかな成長や健康の保持・増進につながることを理解し、実践する力を育てる取り組みを今後も継続して参ります。

また今年度も、体育発表会を10月末に予定しており、運動に適した季節に向けて、発表会に向けた取り組みを進めていきます。運動に対して前向きになれない児童にも、運動の楽しさや喜び、達成感を味わえるような活動の工夫をしていきたいと考えています。ご家庭でも、生活習慣の見直しや運動への取り組みについて、ご協力をお願いいたします。

紫竹校の取組

- 「元気にあいさつしている」
- 「お家の人に学校からのプリントを渡したり、学校の出来事を話したりしている」



児童は「元気にあいさつしている」について肯定的回答が多く見られました。保護者の方からは約6%の方が否定的なご意見を寄せられましたが、新しい設問により、お子さまの具体的な様子を思い浮かべながら回答していただけたのではないかと感じています。教職員においても、「会話のキャッチボール」を意識した教育活動を行ってきたことが、児童の姿に良い影響を与え、評価につながったようです。

「きまりや約束を守っている」に関しては、保護者の否定的な意見が増加しました。子どもが家庭で決まりや約束を守る力を育むには、日々の声かけや関わりが大切です。できたことを具体的に認めて褒めることで、子どもは自信を持ち、次も頑張ろうという気持ちにつながります。一方で、守れなかったときも責めるのではなく、「どうしたら次は守れるか」を一緒に考える姿勢が、子どもの成長を支えると考えます。学校でも、子どもたちがルールを理解し、守る力を育てる取り組みを行い、家庭と学校が連携することで、子どもの健やかな成長につながると考えます。

また、今年度も学校や学級からのお知らせは「すぐーる」を通じて配信して参りました。多くの保護者の方に活用していただけたこと、感謝申し上げます。一方で、児童自身が学校での出来事を十分に家庭で話せていないのではないか、という課題も感じています。そこで、今年度は学校ホームページの更新頻度を昨年度より増やし、子どもたちが学校での体験を自然とご家庭で話したくなるようなきっかけづくりを目指しています。今後とも、学校とご家庭が連携しながら、子どもたちの成長を支えていければと思います。

<自由記述より>

このたびの学校評価アンケートでは、教育活動に関するご意見・ご感想を多数お寄せいただき、ありがとうございました。自由記述を紙面にてご紹介し、学校としての考えも併せてお伝えいたします。保護者の皆さまが真剣に学校評価に取り組んでくださったことに、心より感謝申し上げます。いただいたご意見は、学校として真摯に受け止め、今後の教育活動に活かして参ります。アンケートを通して、児童の回答から一人ひとりの意識や思いを知ることができました。また保護者の皆さまが日々の子どもの姿を通して感じておられることも共有できました。

今後も、子どもたちの健やかな成長のために、学校と保護者が連携しながら、よりよい教育活動を進めてまいりたいと思います。引き続き、ご理解とご協力をよろしくをお願いいたします。

【学校行事について】

・子どもが毎日楽しく元気に、安心して通うことができる環境をつくってくださり、ありがとうございます。他の小学校では、1年生も1学期の中で遠足があったりしたと聞いていたのですが、紫竹小学校では遠足はないのでしょうか？業務軽減の時代の中で、いろいろなことが削減されることに関しては理解できますが、子どもたちが学校の仲間と共に楽しんだり、成長したりする機会として、行事がどんどん削減されていくのは、すこし寂しい気がします。また遠足等もご検討頂けましたら幸いです。

・昨年は一学期の間に2年生と一緒に動物園に行っていました。子どもたちが積極的に関わる学校行事も減っていて、楽しめる遠足もないのは寂しいと思います。一年生でも一年間で一回しかありませんでした。授業時間の制限等あるとは思いますが、もう少し行事について考えていただきたいです。

ご意見ありがとうございます。遠足をはじめとする学校行事について、子どもたちの成長や仲間との絆を深める大切な機会であるというお考えに、私たちも深く共感しております。近年、教育課程の位置づけ業務の見直しや安全面の配慮などから、行事の在り方について検討を重ねているところではありますが、行事の削減に対して寂しさを感じられるお気持ちも、真摯に受け止めております。

遠足につきましても、子どもたちが自然や社会に触れながら学びを深め、仲間と楽しい時間を過ごす貴重な機会として、今後の教育活動の中で改めて検討して参ります。今後も、児童の健やかな成長と豊かな学校生活のために、保護者の皆様のご意見を参考にしながら、よりよい教育環境づくりに努めて参ります。

・日曜参観があれば父親にも授業の様子を見せてあげられるので、より教育に関われると思うので希望します。

・子どもの体験する機会がかなり減ってきているように感じています。温暖化も影響していますがただ危険があるからすぐに無くす方向に動く事は体験の機会を奪う事にもなるので今後も状況に応じて検討をしていてもらいたいです。

・広島に修学旅行に行けて良かったと子供が言うておりました。家庭での平和学習には限界があります。現地に行き、語り部さんの話を聞き、資料館を見て衝撃を受けたようでした。今後、予算の関係で修学旅行で広島に行けなくなるかもしれないと耳にしました。それが事実なら(下の子もいているので)、とても残念です。今後も広島に修学旅行に行けるよう可能性を探っていたらと思います。

貴重なご意見をありがとうございます。まず、子どもたちの体験の機会が減ってきているのご指摘につきまして、私たちも日々の教育活動の中で、児童が実際に見て、聞いて、感じる体験を通して学ぶことの大切さを強く感じております。限られた時間や環境の中でも、できる限り豊かな体験ができるよう、教育活動の工夫を重ねてまいります。

また、日曜参観についてのご希望もありがとうございます。保護者の皆様が教育に関わる機会をもつことは、児童の意欲や安心感にもつながると考えております。今後の参観日の在り方について、保護者の皆様のご意見を参考にしながら検討して参ります。

さらに広島への修学旅行について、児童が深い学びを得たことを嬉しく思います。語り部の方のお話や資料館での見学は、平和について考える貴重な機会であり、家庭では得がたい体験であることを私たちも認識しております。物価高騰により、予算等の課題は払拭できませんが、今後も修学旅行の意義を大切にしながら、教育課程との関わりを考えつつ可能性を探って参ります。

【教職員に関して】

・仕方がないことだか先生により愛情も熱意も天と地ほどかけ離れている。今年は本当に良い先生だが基礎をつくる低学年の学習がくやまれます。

・子供の教育を学校に全て任せるのではなく、適宜家庭や地域でできることは任せて行くことで、特に担任教師には余裕を持った状態で子供に接して行って欲しい。

・先生方には大変よくみていただいていると思います。予定表に添えてある連絡からも子どもたちが楽しく過ごしている感じがうかがえます。

児童の健やかな成長のためには、学校・家庭・地域がそれぞれの役割を担い連携し、支え合うことが大切であると考えております。特に、担任教師が余裕を持って児童一人ひとりに向き合える環境づくりは、教育の質を高める上でも重要です。学校としても、教職員の負担軽減や支援体制の充実に努めながら、児童に寄り添った教育を継続してまいります。

・いつもお世話になりありがとうございます。引き続きどうぞよろしくお願い致します。

・いつもありがとうございます。 ・今後とも宜しくお願い致します。

・提出期日に遅れてしまい申し訳ありません。もし受け取っていただけるなら、どうぞよろしくお願い致します。

感謝の言葉を届けていただいたことに心より御礼申し上げます。教職員ひとりひとりの励みになります。ありがとうございます。

【環境設備について】

- ・体育館にもエアコンの設置を検討してほしい ・体育館にも空調が欲しいです
- ・総合遊具の設置と給水器設置して欲しい
- ・暑い日が多いので給水機を設置していただけたらありがたいなあ、と思います。

学校施設についてですが、ご存じの通り、京都市の財政は大変厳しい状況です。子どもたちの安全面を最優先に考え、修繕が必要なところを優先して限られた予算内で執行していますので、学校設備の新設等は厳しい現状です。

- ・3年生の使用する2階トイレがいつも汚いそうです。清掃がなされていないと感じるようなのですが、清掃状況、方法などご確認いただけたら幸いです。

トイレ清掃は、月に一度専門の業者が入り、清掃しています。また、汚れ等があった場合は、その都度、教職員で清掃しています。

【GIGA 端末に関して】

- ・一年生の時はほぼGIGA端末での宿題が多くてまだ一年生には大変でした！是非とも低学年は夏休みの宿題！とかはプリントで自分で書いて宿題して、だんだんページが少なくなっていく嬉しさとかもあじわって欲しいと思います！
- ・夏休みの宿題は今回のようにデジタルではなく紙の方がありがたいです。

今年度、GIGA 端末が iPad への移行に伴い、夏休みの宿題は、紙のみとなりました。近年、GIGA 端末の活用も進んでおり、2学期以降は、授業での活用はもちろん、低学年も家庭への持ち帰り、ミライシードのドリルパークやロイロノート等を使って家庭学習に取り組むことも増えていきます。また、GIGA 端末を活用した学習は、調べ学習や記録、提出などの面で非常に便利であり、今後の社会を見据えた上でも重要な学習方法と考えています。一方で、紙に書くことで得られる学習の深まりや、ノートが埋まっていく達成感など、アナログならではの良さも大切にしたいと考えています。そのため、学校では、今後も端末と紙の両方を活用しながら、子どもたちが多様な学び方を体験できるよう工夫してまいります。

【その他】

- ・水泳授業を外部委託し、天候・季節にとらわれず安定し質の高い授業に出来ればと思います。
- ・プールサイドに日陰が作れないものでしょうか。入水を待つ間は勿論、体調などによる見学者には近年の陽射しはなかなかきついのではないかと思いますのですが、サンシェードのような簡易なものでも設置は難しいでしょうか。

京都市の水泳授業の外部委託に関しては、京都市の施策として現在、数校、校区にあるスイミングスクールを利用して取り組みを進めているようです。児童の学びの充実に向けて、引き続き最適な方法を模索してまいります。また、プールサイドの日陰の確保についてもご指摘いただきありがとうございます。近年の厳しい陽射しの中、入水を待つ児童や見学者への配慮は大変重要であると認識しております。今年度は、昨年度同様、暑さが厳しい時には、見学者に対して教室や職員室にて、教職員の見守りのもと自習体制を取らせていただきました。児童が安心して活動できる環境づくりのため、今後ご意見を参考にさせていただきます。

- ・いつも子供達の為ご指導に見守りありがとうございます。意見として2つ。1.水泳の実施の制度への不満。1ヶ月数回しかない授業の中、準備もしっかりして行くにも関わらず、親がすぐ送信忘れて見学になるのは、やはりどうかと思う。勿論こちらが忘れてしまうのが1番の原因なのは重々承知しているが、どうしても電子だと忘れがちになる為出来れば紙媒体にしていただきたい。そうすれば目で確認出来る為、持ち物へも意識がいく。それこそ、私達親の意識問題だとは思いますが、検討していただきたいですし、もし見学者が出るなら、そちらをまとめる指導者も配置していただきたい。2.まだまだ自主学への配慮が必要。学年が上がるほど、自主学に対してより本人基盤になっていく為、正直本人も親もプレッシャーが大きくなる。自主学だからと突き放すのではなく、もっと一人一人に寄り添って一緒にプランを考えてほしい。自分で考えられない子との差がやはり広がる。進学校では無いのでしっかりサポートしてほしい。

水泳授業の実施にあたり、保護者の皆様には事前の健康確認等にすぐるの活用をご協力いただいております。子どもたちの命を守るために、学校としては通常にも増して、子どもたちのその日の健康状態を把握しなければなりません。各担任から配信している学習予定表をご確認いただき、ご協力をお願いしたいと存じます。紙媒体での確認のご要望につきましても、今後の運用改善の一つの方向として参考にさせていただきます。また、見学者が出た際の対応についても、子どもたちが安心して過ごせるよう、学校体制の整備に努めて参ります。

自主学習は、子どもたちの主体性を育む大切な取り組みですが、家庭での協力や見守り、家庭と学校との連携が不可欠です。低学年では「家庭学習の習慣を身につけること」、中学年では「自主性と持続力を身につけること」、高学年では「課題設定する力と持続力を身につけること」を目標とし、発達段階に応じて取

り組んでいます。ご理解とご協力をいただけると幸いです。学校で学習することだけではなく、自分が興味や関心をもっていることなど、自分が学びたい学習にも取り組んでほしいと思います。

・アンケートや懇談日程伺い等、forms を活用いただき入力之乐になり助かっています。アプリの問題もあるとは思いますが、連絡帳に置きかわる機能があれば、ありがたいです。大事なことは書面、電話、対面で今まで通りとし、ほとんどの内容が先生にちょっとお知らせしたいことが多いため、(保護者)〇〇です→(先生)了解ボタン、で十分です。(記載内容の例:お腹の調子が悪く給食を残すかもしれない、体調が悪くて宿題ができなかった。)

すぐーるの活用や Forms での回答にご協力いただきありがとうございます。簡単なお知らせの場合、すぐーるの欠席連絡機能で、「遅刻」「早退」を選んでいただき、連絡内容を入力していただけるとありがたいです。教職員は、毎朝、確認していますので、すぐーるを活用していただければと思います。

・本アンケートの「できている」「できていない」基準を明示して欲しいです。
・このアンケート一つの項目において主語や対象がわかりづらく、はっきり答えを選べないものが多かった。アンケートの内容を見直した方がよい。

貴重なご意見として真摯に受け止めております。今後のアンケート作成にあたっては、以下の点を改善して参ります。主語や対象を明確にした設問文の見直しや「できている」「できていない」といった表現については、具体的な行動例や到達目標を添えることで、回答者が判断しやすいようにします。今後も、より実態に即したアンケートとなるよう改善を重ねて参ります。引き続きご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

・クラスのお友達に遅刻が多いようで、子供なりに心配をしているようです。原因は個々人で異なるかと思いますが、個別カウンセリングなどケアを充実させてあげた方が良いのではと思います。

ご意見ありがとうございます。クラスのお友達の遅刻を心配する子どもの姿勢に、私たちも心を動かされました。児童同士が互いを気にかけて、思いやる気持ちを育てていることは、学校としても大変嬉しく思います。遅刻の背景には、様々な要因があると考えられます。学校では、児童一人ひとりの状況を丁寧に把握し、個別の声かけや家庭と連携しながら必要に応じてカウンセリングを行うなど、心のケアにも努めております。

今後も、児童が安心して学校生活を送れるよう、保護者の皆様とも連携しながら、支援体制の充実を図って参ります。何かお気づきの点がございましたら、いつでもご相談ください。

・以前よりホームページの更新が頻繁で学校での様子を丁寧に伝えてくださっているのとても感謝しております。また、いつでも校内の清掃が行き届いており、環境の整備に努めてくださっていることを実感します。これから運動会や学習発表会など子供達のパワーを最大限に引き出していただけるようご指導をお願いいたします。

温かいご感想をありがとうございます。ホームページの更新や校内環境の整備について、日頃の取り組みを評価していただき、大変嬉しく思います。児童の皆さんが安心して過ごせる環境づくりを、今後も職員一同心がけて参ります。これから体育発表会や音楽発表会など、子どもたちが自分の力を発揮できる場が続きます。一人ひとりの成長を支えながら、仲間と協力し合う喜びや達成感を味わえるよう、丁寧に指導して参ります。